

# SEIGAIHA

NIIGATA SANGYO UNIVERSITY

新潟産業大学報 青海波 (せいがいは)

2013  
Vol.26

特集 アクティブ・ラーニングのススメ 1

CAMPUS TOPICS 3

クラブ・サークル活動 5

図書館だより 6

キャリアサポート 7

BACK TO SCHOOL (生涯学習センター) 9

INFORMATION 10



「瓢湖のカモ」(写真の説明は裏表紙)



新潟産業大学  
NIIGATA SANGYO UNIVERSITY



# アクティブ・ラーニングのススメ

## Active Learning

アクティブ・ラーニングは、「能動的学修」の意味で、最近の大学教育を考える中で重要なキーワードになっています。

中教審高等教育分科会大学教育部会が平成24年3月16日に発表した「審議まとめ」では、「予測困難な時代にあつて生涯学習が、主体的に考える力を持った人材は、受動的な学修経験では育むことは難しい。教員と学生とが意思疎通を図りつつ、学生同士が切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長するために、課題解決型の能動的学修（アクティブ・ラーニング）等によって学生の思考や表現を引き出し、その知性を鍛える双方向の講義、演習、実験、実習や実技等の授業を中心とするこ

ゼミの研究テーマに関連してお米を実践につくってみる



阿部ゼミナールⅠ  
小股 涼さん  
(経済経営学科3年)

### 「米本位制による地域通貨の流通実験」

本学の阿部ゼミナールは、米本位制の地域通貨を柏崎市に導入することで期待される地産地消活動の推進、地域活性化の可能性を研究テーマとして活動しています。

市内の稲作農家の協力や指導を仰ぎながら、ゼミ生たちは実際に無農薬天日干しのお米をつくり、このお米を掛け米の販売収益を原資として発行する地域通貨「風輪通貨」の価値の裏付けとしています。

おそらく教室の中だけではなかなか実感することができないであろう「風輪通貨」の価値は、自分たちが苦心して収穫したお米が使われることによって、貴重な営農体験とともに自らの知識としてしっかりと定着することでしょう。

なお、この取り組みは平成25年度の「大学・地域連携推進事業」として、柏崎市から事業委託されています。

○実際にお米をつくってみた感想を聞かせてください。

整地から始まり、田植え、稲刈り、脱穀、精米、そしてパッケージして販売、と、この一年間でお米づくりから流通までのひと通りを経験しましたが、やはり一言で言えば大変だなあ、です。

○この活動で得たものは何ですか  
今回の作業では、近代的な農作業員

を使わず、敢えて昔ながらの手間が掛かるやり方を採用しました。当然苦勞も多いのですが「通貨」が本来はそれ自身に価値があるモノだった、ということを確認できました。

○その結果、自分にとってどんなことがプラスになっていますか

大学生活では、そろそろ自分の将来について考える時期になっています。今回の活動で身近に感じた農業関連の仕事や、ゼミの研究テーマを生かした就職の選択肢の一つとして考えるようになりました。

○活動の中で「最高の経験」を教えてください。

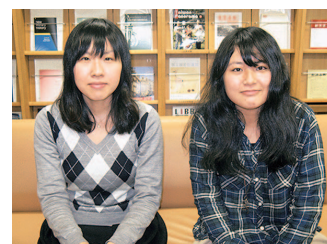
やはり、自分たちで作ったお米を口の中に入れた瞬間ですね。(笑)

○この活動を「アクティブ・ラーニング」として捉えると、どのような成果があったと思いますか

阿部ゼミナールは、グローバル化する経済の問題点としての「格差問題」と「環境問題」をテーマにしています。その解決策の一提案として「地域経済の活性化を目的とした地域通貨の流通実験」があります。また今回の活動は、産業の6次化(1次産業生産) + 2次産業(加工) + 3次産業(流通・販売)も同時に経験するものであり、アグリビジネスの展開に関する手法も学ぶことができました。



ビジネスコンテストに応募し  
優秀賞を受賞



黒川ゼミナールⅡ  
伊藤まりさん・関 靖子さん  
(ともに文化経済学科4年)

### 「2013ビジネスプランコンテスト」

in新潟(NB1グランプリ)  
高校生・大学生・社会人を対象に、起業家精神の醸成、将来の県内産業を担う起業家の発掘を目的として、チャレンジ精神あふれるビジネスアイデアの提案を募集するもので、提案された事業計画書(事業概要、事業性(市場性)、実現可能性、収益力等の審査基準により優秀賞が選定されます。

主催・・・(公財)にいがた産業創造機構  
構 新潟ベンチャーキャピタル(株)

二人のプランは、ファッションについて悩む女性向けのアドバイザーサイトについての提案。コーディネート等に悩むユーザーが質問しそれに対して一般ユーザーや店側が回答するもので、ビジネスプランに応募企画全12提案中3枠の優秀賞に選ばれました。

○参加したきっかけ

私たちが所属する黒川ゼミナールでは、普段「創造的文化産業」をテーマとした研究を行っています。今回の参加にあたっては、ゼミの中でそれぞれの提案を持ち寄ってコンペを行い、その結果私たちの提案がゼミの代表として選ばれました。

○企画の発想はどこから?

洋服のコーディネートは、日頃自分が悩んでいることだったので、そのアイデアをそのまま具体化したことがきっかけでした。また、スポンサーの形で取扱業者を募り、既存のアドバイザーサイトと結びつけてビジネスに発展させる提案が今回工夫した点です。

○コンテストに応募して、得たものは何ですか

一からビジネスプランを考えることは試行錯誤の連続で、当然、コミュニケーションする場合には予測や先入観に左右されてしまう部分もあったかと思いますが、今回のコンテストの審査基準と自分たちのそういった部分とを照らし合わせると、やはり実社会でのビジネスの厳しさを痛感しました。学生であるうちにそのギャップに気付くことができて良い経験になりました。

○この活動は、自分にとってどんなことがプラスになっていますか

現在就活中なのですが、訪問する会社について、ビジネスのプロセスや綿密な計画、コストの算定など、プロジェクトを裏で支えている仕事も同様に考えることができるようになり、これまで見えなかったものが見えてきた気がします。

○この活動を「アクティブ・ラーニング」として捉えるとどのような成果があったと思いますか

普段のゼミでも行っていることなのですが、やはり「今使うことを前提とした知識の修得」、そして「得た知識を実際に使ってみる経験」は、学びのうえで大きな効果があると思います。



とが必要」という内容で、学士課程教育の質的転換を求めています。

アメリカで発表された興味深い研究として、講義の内容がどれだけ記憶に残るかを調査した結果、講義を聞くだけで5%しか記憶に残らないものが、グループ討議で討論すると50%、自ら体験をする体験型になると75%に、さらに他の人に教える体験をすると90%が自分の学んだことが記憶に残るということがわかったそうです。

得た知識を自分のものとするためには、「知識の定着」と「知識の活用」が為されるかが重要であると言われています。アクティブ・ラーニングの手法を導入した授業では、教授内容を体験として確認できる場面、そしてそれらを実際に活用して学びを進める場面が自然に発生することになります。

今後の大学の授業では、教員が一方的に知識を教える「講義型」ではなく、学生自らが課題を解決したりプレゼンテーションをしたりする「参加型」あるいは「体験型」が主流になっていくでしょう。

今回の特集では、本学におけるアクティブ・ラーニングの取り組みや、課外活動等によって体験的に学び、自身のキャリアに大きな収穫を得ている本学学生の4つの事例をご紹介します。

## 観光PRのシンボルとして 故郷を見つめなおす



五十嵐裕菜さん  
(経済経営学科2年)

### 『かしわぎ観光大使』

柏崎観光協会が、柏崎が大好きで柏崎に在住または通勤、通学している人を対象として公募し、選考の結果、委嘱される柏崎市の観光PR活動のシンボル。

平成24年から活動が始まり、当初本学から4名が委嘱を受けました。今年度に入り4年生の卒業を受け、新たに2名が委嘱されました。

かしわぎ観光大使として、中国からの留学生を含む本学の学生4名は、柏崎市内のみならず県内外、時には海外で開催されるイベント等にも積極的に参加しています。中国で観光PRを行った際には、2名の留学生が観光大使の任務とともに通訳の役割も担いました。

学業の傍ら柏崎市のPRのために全国を駆け回る彼女たちの活躍の様子は、柏崎観光協会のウェブサイトおよびFacebookページで紹介されています。

### ○参加したきっかけ

大学1年の春休み、大学の留学プログラムに参加してオーストラリアに1か月間のホームステイに行ってきたこともあり、以前から語学に興味があったこともあり、そんな経験も生かせるかと思いで応募しました。

○この活動で、得たものは何ですか  
私は地元出身なのですが、観光大使として県内外のいろいろな場所に行っ

て、その先々でいろいろな方々と交流をして、故郷である柏崎を一層客観的に見られるようになったと思います。地域それぞれに素晴らしいところがあり、その中でどうしたら柏崎がもっと元気になるかを考えるようになりました。

○この活動は、自分にとってどんなことがプラスになっていますか  
最初は人見知りの自分に務まるのかとても不安でしたが、いろいろな場所

で観光大使として親切に接していただき、自分なりに柏崎の観光PRのシンボルとして精一杯頑張ろう！という自覚が出てきて、人見知りも克服できそうです。

○活動の中で「最高の経験」を教えてください  
先日、新潟県観光フェアのお仕事で

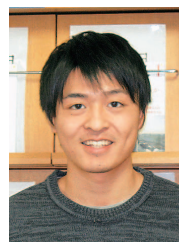
大阪に行きました。柏崎からは一人の参加で少々心細かったのですが、会場には新潟県に縁のある人、興味のある人がたくさん来てくださいました。離れた土地で「新潟」をキーワードに交流ができたこと、それから県内の他のまちの観光大使の皆さんとも仲良くなったことがとても思い出深いです。

○この活動を「アクティブ・ラーニング」として捉えると、どのような成果があったと思いますか  
観光大使を務めているうちに「地域振興」や「観光」の分野にとても興味

がわいてきました。関連のある大学の講義を受けていると、実際に体験している納得できることがたくさんあります。また、いろいろな土地を訪れるチャンスがたくさんあるのも、社会科の教職課程取得を目指している自分にとって、見聞を広めることにも役立っています。



## 柏崎市内2大学の学生が地域と連携して町おこし



渡邊ゼミナール I  
酒井貴裕さん  
(経済経営学科3年)

### 『まちかど研究室』

柏崎市と新潟産業大学、新潟工科大学による大学・地域連携推進事業として平成24年7月に設立。柏崎市の二二二通り商店街の空き店舗を活用して、柏崎市中心市街地の活性化を柱に柏崎と2大学の魅力発信を行う試みです。

「経済学」と「工学」という全く異なった視点から「まちづくり」のテーマにアプローチする過程で、試行錯誤を繰り返しながら協力関係や補完関係を築きプロジェクトを進める「まちかど研究室」は、学生たちにとって、地域社会の現状に触れ、地域とのコミュニケーションを実践的に学ぶ貴重な経験の場となっています。

まちかど研究室の内装の改修から始まり、柏崎の魅力を集集し発信する「柏崎最高プロジェクト」や地域商店街のイベントのプロデュース、小学生とのまちづくりワークショップ、そして駄菓子屋の営業など、2大学の学生たちは教室を飛び出し、「地域活性化」という広大なフィールドで活動しています。

### ○参加したきっかけ

マーケティングやまちづくりに興味があり、渡邊ゼミナールを志望しました。その中で渡邊先生から「まちかど研究室」の紹介を受けて、やってみようと思いました。



○この活動の結果、得たものは何ですか  
実際に「地域活性化」ということを考えてイベントやプロジェクトを実行しようとする、そこには商店街の人たちはもちろん、行政や地域の人々など周囲との相互理解や協力関係の構築が必要不可欠です。自分たちの考えだけでは上手くいかないことは当初から想定していましたが、この活動を通じて、具体的にどういった調整や打ち合わせが必要なのかを学ぶことができました。

○この活動は、自分にとってどんなことがプラスになっていますか  
この活動を通じて地域の人たちと関わり合いを持ち、新潟工科大学のメンバーの皆さんと意見交換をしているので、コミュニケーション能力を養うことができたと思います。

また、「商店街」や「地域」との交流は、実はその中に見える一人ひとりのコミュニケーションが大切であることを学びました。

○活動の中で「最高の経験」を教えてください  
「柏崎最高プロジェクト」の表彰式

は、準備に苦労したのですが、その甲斐あって大変素晴らしいものになりました。地域の中心となる方々をたくさんお招きして作品の審査をすることができ、また受賞した皆さんの喜んだ顔やガッツポーズを見ることができて、運営として関わって本当に良かったと思います。

○この活動を「アクティブ・ラーニング」として捉えると、どのような成果があったと思いますか  
大学の講義で「マーケティングの4P (製品(Product)、価格(Price)、流通(Place)、プロモーション(Promotion))」というものを学んで

いて、まちかど研究室の活動にこれらを実践的に取り入れてみました。上手くツールとして活用できたと思います。



# CAMPUS TOPICS

## 「柏崎の個性・魅力づくり調査研究業務委託報告会」が行われました



柏崎市による「大学・地域連携推進事業委託」に基づき、5月15日(水)に「柏崎の個性・魅力づくり調査研究業務委託報告会」が開催されました。これは、柏崎市と地元二大学(新潟産業大学、新潟工科大学)との連携の一環として、毎年様々な分野で柏崎市から調査研究の委託を受けているものです。

本学からは、平成24年度受託事業「柏崎中心市街地に対する地元住民の利用動向・意識調査」について経済学部 渡邊孝一郎 助教が発表を行いました。

渡邊助教は、柏崎市全域に住む満18歳以上の男女2000人(回答数1072)を無作為抽出し、柏崎中心市街地に対する利用動向・意識調査を行いました。

多くの地方都市と同様、柏崎の中心市街地及び商店街も賑わいなくなつて久しく、人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の特性に合った活性化策が必要となつている現状があります。

集計された結果は90枚にも及ぶ膨大な数のグラフを使ってわかりやすく明示されました。総括では、依然として多くの市民が多目的に中心市街地を利用している点や、

約6〜7割の市民が中心市街地・商店街の活性化が必要だと考えている点から、柏崎の発展のためにも活性化していく必要があると結論する一方、衰退しても困らないとする回答も約4割に達していることから、今後はいかに多くの市民に「必要不可欠な存在である」と感じさせていくかを課題に挙げました。そして、その課題解決策として、「買い物弱者の満足度向上」「若者・子育て世代の満足度向上」「中心市街地の魅力向上」の3点を提言しました。

## 国際ボランティアセミナーに参加しました

7月18日(木)、本学203教室において、「JICAボランティアセミナー」が開催され、本学学生約20名が参加しました。

このセミナーは、青年海外協力隊事業の広報の一環として行われています。

青年海外協力隊は、独立行政法人国際協力機構(JICA)が開発途上国の要請を受け、各国の要望に見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む人を募集し、選考、訓練を経て派遣する事業です。

当日は、布田雄哉氏(公益社団法人青年海外協力協会)より、まず青年海外協力隊の事業の概要について説明してもらい、その後今年3月まで(2年間滞在)ミクロネシアのポンペイ州で村落開発普及員として派遣されていた関千鶴さん(新潟県出身)から体験談を聞きました。

なかでも現地での食事や健康、治安、さまざまな文化や生活習慣の違い等、普段聞くことのできない貴重な体験談は驚きの連続でした。

カルチャーショックを乗り越え、現地の人々との交流を深めると、素晴らしい人生経験を得ることができると教わりました。また同時に、日本人とは違った価値観を認め、視野を広げることがとても大切であると感じました。

参加した学生達のボランティア意識を育み、国際理解を深め語学など幅広い知識を養う意識を高める啓発の機会として、大変刺激になるセミナーでした。



## ドナルド・キーン博士が来校しました。

9月27日(金)、世界的著名人ドナルド・キーン博士(日本文学研究者、文学評論者)が来校し、本学の講義「日本の伝統芸能」を聴講されました。

ドナルド・キーン博士の聴講は、一昨年度から続く3度目となり、本学にとって大変名誉なことです。

今回の講義は、特別講師として浄瑠璃・三味線奏者・キーン誠己さんを迎えたもので、実際に三味線を弾きながらの講義は大変興味深いものでした。そして講義の後半には、ドナルド・キーン博士ご自身からも特別講義を行っていただきました。

この講義は、本学学生だけでなく地域の方々にも公開しました。折しも本学所在地の柏崎市には「ドナルド・キーン・センター柏崎」が9月に開館し注目を集めており、学外からも多くの方々の聴講がありました。

またその一方で、「ドナルド・キーン・センター柏崎」開館にとりもなう記念講演が開催された際には、本学の北原保雄学長が「ドナルド・キーン・センター柏崎」



の意義』の演題で講演を行っており、相互に交流を深めています。

今回の聴講は、講義に参加した学生や一般の方々にとっても、地域とゆかりの深いキーン博士の人となりを知る貴重な機会となったことでしょう。



## ぎおん柏崎まつり 産大・工大が学生合同 御輿で参加

7月25日(木)、「ぎおん柏崎まつり」二日目のたる仁和賀パレードに、「新潟工科大学・新潟産業大学 合同御輿」総勢70名が参加しました。定まらない梅雨空に雨中の御輿が心配されましたが、パレード開始の午後6時には夕焼けが見えるまでに回復し、夏の夜の情緒を彩る盛大なたる仁和賀となりました。

両大学ともに参加学生のほとんどが本御輿は初体験でしたが、パレード開始までには「セイヤツ」



「サー」の掛け声がそろい、本番では見事な担ぎっぷりでした。

パレード中の二度の代表口上では、新潟工科大学の学生と本学の学生がそれぞれ一度ずつ、御輿揉み合い披露に続き力強く口上を述べて三本で威勢良く締めました。終了後の打ち上げは、職員心づくしの豚汁とそうめんを完食。学生たちは心地よい疲れを感じながら、しみじみと「おもしろかった



なあ」「来年も出たいなあ」と語り合っていました。  
沿道のご声援、ありがとうございました。



## 紅葉祭を 開催しました

11月2日(土)及び3日(日)の二日間、学園祭「第25回紅葉祭」が開催されました。

25周年の節目の年ということで25の数字をもじり、2525(二〇二五)をキーワードに、来場者が二〇二〇笑顔になる学園祭!を合言葉に、学生スタッフが7月から準備を進めてきました。初日は天候に恵まれたこともあり、活気のある雰囲気の中イベントが進行しました。メイン会場では、軽音楽部による定番の長時

間熱烈ライブや留学生交流会によるモンゴル歌謡をはじめ、ヒップホップの披露や合唱、ダンス同好会による魅力的かつ感動的なダンス披露、そして初日最後は豪華賞品の当たる「ビンゴ大会」が盛大に行われました。

また講堂では、吹奏楽部の演奏

や伝統芸能文化部による舞踊「花は咲く」・「刀剣」などの舞が披露されました。父母の会主催の文化講演会では、新潟お笑い集団NAMARA

代表の江口歩さんによる講演が行われ、常識の裏側について分り易く講演して

いただきました。

その他、フリーマーケットや模擬店、新潟工科大学学友会の協力によるスパーボールすくいが行われ、小さな子供達に大人気でした!

2日目は、ときどき薄日が差す曇天での開催でした。メインイベ



ントとなる「小野恵令奈 TALK & LIVE」を聴くために、開場前から続々とファンが集まり、会場の雰囲気盛り上げていました。メインステージでスモークが焚かれるなか、スポットライトの点灯を皮切りにライブがスタート。ペンライトが眩しく光り、入場者全員が総立ちとなったときは最高の盛り上がりを見せました。

学生ホールや教室などでは、各部・サークル等による日頃の活動の成果の披露、来場者の誰もが楽しめる、さまざまなイベントや模擬店が開催されました。

来場者からのアンケートでは、安くて美味しい模擬店やイベントの多彩さ、そして学生たちの熱意を評価した多くのコメントが寄せられました。

快晴の秋空の下、見てよし、食べてよし、楽しめてんご盛りの学園祭でした。



# クラブ・サークル活動



## 〔水球部〕 男子21年連続インカレ出場、 女子日本選手権出場

7月20日と21日の2日間、愛知県口津義運動公園室内プールにおいて第22回中部学生水球選手権大会が開催され、水球部男子は昨年に引き続き見事優勝を果たしました。これにより21年連続となる第89回日本学生選手権水球競技大会水球競技（インカレ）に出場しました。

※中部学生選手権の試合結果※

|      |        |      |        |
|------|--------|------|--------|
| 第1試合 | 新潟産業大学 | 18-0 | 名古屋大学  |
| 第2試合 | 新潟産業大学 | 30-0 | 三重大学   |
| 第3試合 | 新潟産業大学 | 18-6 | 金沢工業大学 |



水球部女子は、5月に行われた東日本水球リーグ戦で12チーム中6位、9月に行われた日本学生選手権水球競技大会水球競技（インカレ）6チーム中5位となりました。

そして10月には、地元柏崎市で行われた水球日本一を決める第89回日本選手権水球競技大会へ水球競技に柏崎アクアクラブ（地元）の社会人や高校生との合同チームとして出場しました。1回戦敗退となりましたが、終了間際にゴールを決めるなど攻守にわたり大健闘でした。

## 〔空手道部〕 連覇！アベック優勝！

5月12日福井大学で開催された、第39回北信越学生空手道選手権大会（個人組手）において、文化経済学科1年の田村大地さんと久我優希さんが、見事アベック優勝（男子45人中1位、女子25人中1位）を果し、さらに久我さんは個人形でも準優勝を飾りました。

その後二人は6月30日に日本武道館で開かれた全国大会にも出場しました。一人ともまだ1年生、今後のさらなる飛躍が期待されます。また12月に富山県で行われた第21回北信越学生空手道新人選手権大会女子個人組手でも久我さんが出場6大学15人中の優勝でした。

空手道部としての最近の戦績は平成22年に男子団体戦で優勝後、個人戦で3年連続優勝、今年初めて男女共に優勝、空手道部の歴史が着実に引き継がれています。

## 〔ライフセービング部〕 全国大会で7位入賞

5月17日から19日の三日間、横浜国際プールで行われた第26回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会において、経済経営学科4年の内

山絢太さんと三井田誠さんがラインスロー種目で全48団体96人中7位に入賞しました。



また9月28日から29日の間、千葉県御宿町において第28回全日本学生ライフセービング選手権大会が行われ、経済経営学科4年の今井俊介さんと小山博紀さんがCPRアセスメント種目で多くの大学がB・C判定のなかA判定の認定を受けました。

このA判定は、各種目の優勝と同等のポイントが加点されるものです。

※CPRとは心肺蘇生法を表し、アセスメントは評価の意味で、従来のスポーツ競技とは異なっていた水辺の監視・救助活動の本来の趣旨に沿った救命法の熟度を測る種目です。

今年は4年生中心の部員構成だったので、日頃の練習成果として全国大会規模の複数種目決勝進出者を多く輩出することができました。今後は来期に向けてより多くの部員で活動できるよう、練習環境の整備や、後輩たちの育成指導を行っていきたいと思います。

## 〔卓球部〕 躍動の1年でした

卓球部は1年生4人と2年生8人の若いチームでしたが、今年は数々の戦績を残しました。5月17日から19日の間、石川県小松市総合体育館で第61回春季北信越学生卓球選手権大会団体戦（男子10大学・女子8大学）が行われ、男女共に3位となりました。また8月9日から11日の間、長野県千曲市戸倉体育館で行われた平成25年度夏季北信越学生卓球選手権大会に

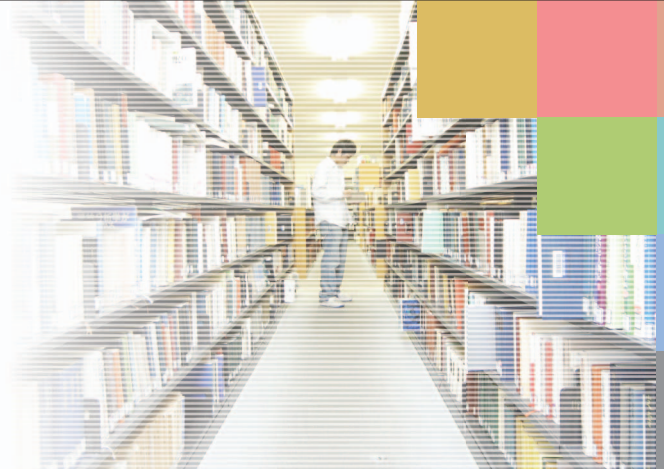
おいて、経済経営学科1年宮澤僚太さんは13大学183名が出場した男子シングルスで見事優勝、団体戦も春に続き男女共3位となりました。また経済経営学科2年松島卓宏さんも男子シングルスでベスト16位、さらに宮澤さんとペアを組んだ同1年今井直弥さんも男子ダブルスでベスト8位となり、いずれも11月13日から兵庫県尼崎市で行われた第80回全日本大学総合卓球選手権大会に出場しました。また9月1日、新潟市白根カールチャーセンターで行われた平成25年度新潟県硬式卓球ダブルス選手権大会で、宮澤僚太さんが、本学附属高校3年生とのペアで混合ダブルスの部に出場し、見事優勝を果しました。宮澤さん達ペアは、来年1月14日から19日の間、東京体育館（東京都渋谷区）で開催される平成25年度全日本卓球選手権大会に出場します。

そして10月20日富山県高岡市福岡Uホールで行われた平成25年度全日本選手権大会富山県予選会において、文化経済学科2年源通真優さん（富山県出身）が女子シングルの部に出場し、見事準優勝を果しました。8月の北信越国民体育大会（富山県代表・優勝）に続く華々しい活躍です。源通さんもお宮澤さんと同じく1月14日から東京で開催される全日本大会に出場します。卓球部は2年生中心の若いチームですが、この勢いで更なる高みを目指しています。





# 図書館だより



## 選書ツアーを実施しました！

全国の大学図書館では、選書ツアーという企画が真つ盛りです。これは、学生が直接書店へ赴き、図書館に入れてほしい本を選ぶというものです。

本学では今回が初めての試みです。

場所は、新潟駅南のジュンク堂書店で行いました。たくさん本があり過ぎて選ぶのに一苦労だったようですが、その中から、さまざまなジャンルの大変良い本が選ばれていました。若者ならではの本や、ユニークな本など、こちらも選書をするにあたっての勉強となりました。若者目線の本なので、貸出もきつと多くなることでしょう。

選書後は、新潟市江南区にある、「北方文化博物館」見学と、館内レストランでの昼食というお楽しみもありました。

純日本風の建物・庭園・調度品・和定食・囲炉裏：日本人学生も、留学生も、新鮮な体験だったようです。最後に、お土産を購入し、帰路につきました。



選書した本を前に、記念写真



留学生は、初めて食べるものばかり



日本人学生も純和風のごはんは、めったに食べないそうです



柏崎市史  
他の市町村も充実しています



柏崎に関する図書・雑誌

## 郷土資料の収集をしています

本学図書館では、新潟県内・おにも、柏崎市とその周辺の郷土資料を収集しています。中でも、県内旧市町村を含めた「市史」「町史」「村史」は、ほぼ揃っています。これは、県内の大学図書館の中では、かなりの充実度ではないでしょうか。本学利用者の貸出も、さることながら、他大学や他研究機関などからも貸出依頼が増えていく状況です。

その他、郷土誌「柏崎・刈羽」や、柏崎に関係した図書や雑誌の収集を進めています。

郷土資料の収集は、柏崎にある大学図書館の使命であると考え、地元の郷土史研究の支援が出来るよう、今後とも力を入れていきたいと思っています。郷土史の調査・研究などをされている場合は、ぜひご利用ください。

## 館長随想

### 「行ってみなければわからないこと」



図書館長  
経済学部教授  
片岡 直樹

美術史を講じているので、授業

でとりあげる作品は実物をみておくことを心がけている。教室ではスライドという実物を写した偽物を用いざるをえないが、作品本来の魅力を少しでも受講者に伝えようとすれば、私自身が実物をみておかなければ話にならない。このことは寺院や史跡についても同じで、そこに立つたことがなければその土地のもつ意味や重みを十分に伝えることはできない。できるかぎり足を運ぶようにしている。

奈良の西大寺についての講義で、僧・道鏡の生涯にふれることがある。西大寺は身体の不調で退位したが後に再び即位(重祚)した孝謙上皇(称徳天皇)によって建てられた寺院で、道鏡はこの女帝の看病に功があったとして寵愛を受け、権勢をほしいままにした。和氣清麻呂らが妨げなければもう少して天皇になっていたほどだ。西大寺は女帝と道鏡の栄華の産物なのである。

しかし二人の栄華はまことに儚いもので、七七〇年、天皇は寺の完成を待たずに崩御、道鏡は

下野国薬師寺に流されてしまつた。栃木の人には怒られるかも知れないが、当時の都びとにとつて下野は文化果つる地であり、一時とはいえ絶頂をきわめた道鏡の心中はいかばかりであったか。講義ではこれまでそんな話をしてきた。が、薬師寺址を訪れたことは一度もなかった。週末に車を走らせたのはつい先日のことである。

夕暮れが迫る頃になってたどりついた寺院址は国の史跡に指定されており、一棟の新しい記念館が建っていたが、往時をしのばせるものは整地された区画の中に並ぶ幾多の礎石ばかり。周囲は見渡すかぎりの平地で、師走の寒風が身にしみる。

記念館を出て、何気なく遠方を見やると、赤く染まった夕焼けの彼方に、ひととき高く美しい山の姿が紫色のシルエツトで浮かび上がっている！配流から一年半の後にこの地で終焉をむかえた道鏡は日々富士山を見ていたのだった。



新潟産業大学  
附属図書館

☎ 0257-24-8435  
E-mail  
library@ada.nsu.ac.jp





# キャリアサポート

## 先輩から学ぼう

卒業した先輩から就活中の後輩へ贈ることは

近年、マスコミ等で入社3年目までの離職率の高さが取り沙汰されています。企業では「七五三現象」として一昔前から知られており、今に始まったことではありません。しかし、大学生の就職に対する意識が少しずつ変化してきているのも事実です。離職のリスクを恐れるあまり、年間休日数や福利厚生、勤務場所や転勤の可能性などにこだわり、結果として社会に足を踏み出せなくなる学生もいます。そこで今回は、入社3年目までの本学卒業生にアンケートをお願いし、今現在の心境をお聞きしました。今回、回答をいただいた先輩たちは、必ずしも第一志望の企業に就職できた訳ではありません。それでも意欲的に働く先輩の言葉から、広い視野で「仕事のやりがい」を感じてください。

Wさん 男性

製造業 1年目  
(第一志望で入社)



Nさん 男性

小売業 2年目  
(就職課の紹介で入社)



Cさん 女性

金融業 3年目  
(第一志望で入社)



Iさん 女性

製造業 3年目  
(第二志望で入社)



▲ 就職セミナー (メイクアップ講座)

Q1 現在の職場の仕事内容に対する満足度とその理由をお答えください。

Wさん 満足しています。研修期間が充実していて、海外勤務を含め、広い視野で仕事ができるからです。

Nさん 満足しています。仕事に慣れてきて、楽しさと難しさの両方を感じることができるところです。

Cさん とても満足しています。やりたかったことと、「人と話す」という自分の得意分野が日常業務ででき、職場の人間関係に不満がないからです。

Iさん 満足しています。中小企業なので、単純な事務作業だけでなく、さまざまな仕事ができます。

Q2 これまで辞めたいと思ったことは？

Wさん ありません。

Nさん ありません。

Cさん あります。入社2年目の時、先輩の指導を任されたことや上司からの期待、目標などに重圧を感じました。

Iさん あります。入社1年目の時でした。休みが思うように取れず悩みました。

Q3 実際に就職してみても、学生時代と一番ギャップを感じたことは何ですか。

Wさん 責任の重さです。お給料をもらって働いている分、結果や成果が求められます。

Nさん 「学問と実務は違う」ということを、働いてみて肌で感じました。学生時代の勉強は「自分のため」ですが、社会に出ると「お客様のため」「会社のため」を意識することが多くなりました。

Cさん 自己管理です。「体調がちょっと悪い」くらいでは休めません。もちろん責任も感じます。自分の発言には会社の看板を背負っている





▲ 学内合同企業説明会

ることを意識しなければなりません。また、「縦(上下)の人間関係」は会社組織ならではのものです。

**Iさん** 自立ということですか。何でも自分でなんとかしなければなりません。自分の仕事に責任を持つということです。

**Q4** 大学生活の経験やスキルで就職に役立ったことはありますか。

**Wさん** 留学です。留学先で培った語学力が役立っています。

**Nさん** さまざまな経験です。幅広い世代の人と関わったことが自分の成長につながっています。

**Cさん** 企業見学です。ゼミナールで市内の企業を見学しました。その貴重な体験と企業の方と知り合えたことで、いろんな業種の方と話せるようになり、ひいては今の仕事に役立っています。

**Iさん** ボランティア活動です。さまざま人と接してきたことで、接客に対する抵抗感が少なくなりました。

**Q5** やりたい仕事、適した仕事が見つからないという後輩にアドバイスをお願いします。

**Wさん** さまざまなことに触れ、自ら行動をおこすことが大切です。

**Nさん** 夢や目標を持つ一方で、現実の厳しさを知ることです。格好良さや憧れだけで仕事を選ばないでほしいです。

**Cさん** 広い視野を持ち、自分のチカラを、とりあえず試してみてください。私も今の仕事为天職かどうかはまだわかりません。まして就活の段階で決めてしまうのは早いと思っています。

**Iさん** まず、どんな仕事があるのか、実際に見てみることに

も重要だと思っています。「百聞は一見にしかず」です。

**Q6** 就職や就職活動の経験を踏まえ、後輩にアドバイスををお願いします。

**Wさん** 「行動力」「向上心」「積極性」をもって取り組みましょう。

**Nさん** 「自分で考えること」と「周りにアドバイスを求めること」を見極めながら、自分なりの正解を見つけてください。大学の勉強やテストの正解は1つだけですが、働く上で正解は1つだけとは限りません。大切なことは「意欲を持つ」ことです。仕事への責任を感じたとき、それがモチベーションになります。

**Cさん** 「あたって砕ける」という気持ちで行動するのが就職活動です。あなただけが怖いのではなく、産大生も新大生も東大生も同じ気持ちを持つ就活生です。圧迫面接に耐え、他の学生のすごさを知って刺激を受け、寝不足の中でエントリースシートを書き、寒い冬をスツで歩き回ってやっと勝ち取るのが「内定」です。

運はありますが、「どうせ私なんて」と考えずに、後悔のないよう前向きに力強く努力してください。

**Iさん** 「今の学生は積極性が無い」という話を耳にします。積極性のなさが顔の表情にできれば内定はもらえませんが、考え方を変えましょう。

社会には社会のルールがあり、就職するからにはそのルールに従わなければなりません。面倒だと考えずに、やるべきことをしっかりと取り組みましょう。

卒業生の皆さん、お忙しいアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。学生時代と就職してからの違いについて、共通して「責任」を挙げたのが印象的でした。真摯に仕事と向き合い努力されていることがよくわかりました。今後のご活躍をお祈りします。就活生の皆さんには、先輩たちの言葉にあるように、(就職先について)最後は自分で決断すること、積極的に意欲を持って就職活動に臨むことが大切だと言えます。

就職課では、学生一人ひとりに対し、就職相談を随時受け付けています。また、人事採用経験をも

## 就職相談のお知らせ

新潟産業大学では、学生の就職相談を毎日行っています。1年生から4年生まで、学年を問わず誰でも気軽に相談できます。保護者の方のご相談にも応じています。連絡先は下記のとおりです。

【新潟産業大学 就職課】

TEL : 0257-24-8437 FAX : 0257-21-6474

E-Mail : career@ada.nsu.ac.jp



▲ 就職セミナー (面接・マナー対策講座)

つキャリアアカウンセラーの面談を受けることもできます。ぜひ就職課を活用し、希望する就職先への内定に結びつけてください。



# Back to School

## (生涯学習センター)



「ビジネス&生活英語Ⅰ」



「欧米文化論」

春期には30講座中24講座に延べ60名の方が受講されました。また、秋期には39講座中20講座に延べ60名の方が大学生と一緒に授業を受けています。

その他、資格取得を目的とする聴講講座としてTOEIC講座を公開(春期及び秋期)し延べ8名の方が受講されています。

### 聴講講座



「はじめての仏像」



「美しい日本語の世界」

後期の講座「美しい日本語の世界」に残したい言葉・季語の世界」に北原保雄学長が出演し、定員を大きく超える77名が受講されました。

また、「かしわざきを知る」これからも伝えたい柏崎の「財(たから)」の第3回・第6回(受講者45名)と「はじめての仏像」の全2回(受講者44名)において片岡直樹教授が講義を行いました。

### かしわざき市民大学



「クリーンエネルギーの扉を開く」

柏崎市市民プラザを会場に「いろいろなエネルギーの利用」(藤井信行客員教授)を9月に3回の講座で開催しました。(受講者4名、柏崎市教育委員会後援)

また、刈羽村生涯学習センターラピカを会場に「グリーンエネルギーの扉を開く」(アブドゲニイ准教授)を10月に3回の講座で開催し(受講者5名、刈羽村教育委員会後援)、最終回は刈羽ケーブルテレビによりテレビ公開されました。

さらに、10月26日には柏崎フォーラムのワークショップの一つとして「エネルギーの考え方講座」(藤井信行客員教授)を開催しました。(受講者8名)

### 公開講座(公益法人内田エネルギー科学振興財団助成事業)

平成26年度 新潟産業大学 生涯学習センター「友の会」入会のご案内

本生涯学習センター「友の会」は、平成13年度に発足し、今年で13年目を迎えます。今年度の会員数は、37名となりました。

#### 特典

1. 受講料の割引: 本学主催の各講座が20%の割引となります。
2. 講座の先行受付
3. 会報等資料送付
4. 懇談会への参加(今年度は平成26年3月14日(金)開催予定)です。

#### 申込方法

1. 郵送: FAX・E-mailまたは大学窓口にて申し込み下さい。
2. 年会費(一般会員)は、2,000円です。
3. 新規会員の方には、会員カードをお渡しいたします。

4. 入会期間は、平成26年4月1日～平成27年3月31日の1年間となります。

新潟産業大学・生涯学習センター  
 ☎ 0257-24-8441  
 ☎ 0257-22-1300  
 E-mail: llc@ad.nsu.ac.jp



## 修学支援制度について

新潟産業大学は、経済的事情により修学が困難な学生に対し、授業料の半額を免除する制度を設けています。

先行きの見えない不況下、勉学意欲がありながら、やむを得ず大学進学をあきらめるケースや、入学後にも保護者の失業等で学業の継続について常に不安を持ち、修学に専念できない等のケースが、全国の大学で報告されています。

本学では独自の支援制度を実施することにより大学進学や学業継続にかかる家計負担を軽減し、本学で修学する意欲を持つ学生をサポートしています。

|                   |                                                       |
|-------------------|-------------------------------------------------------|
| 対象者               | 学費負担者および家計を一にする家族（以下「学費負担者等」）の経済的理由により、修学が困難な学生。      |
| 申請要件<br>(年間所得の上限) | 自宅通学者：300万円程度以下<br>自宅外通学者：350万円程度以下                   |
| 軽減額               | 年間授業料（660,000円）の半額を免除（軽減期間は1年間）。<br>※2年次以降は、審査により更新可。 |

修学支援制度に関するお問合せ先・新潟産業大学入試課

☎0120-787-124

## 出張講義のご案内

新潟産業大学では、本学教員が高等学校等に出向いて講義を行う「出張講義」に積極的に対応しております。大学の専門分

野を高校生向けに分かりやすく講義することにより、大学の「学び」を感じ取っていただくことができます。

大学進学の意識づけとして、また進路選択の一環として、幅広くご利用ください。

出張講義のお申し込み・お問い合わせは☎0120-787-124（入試課）へお気軽にご連絡ください。

## Web上で本学のシラバスの検索と閲覧が可能です。

本学ではWeb上で開講科目のシラバスを公開しています。

シラバスは、授業科目の概要であり、15週にわたって開講される授業の各回の内容が予め示され、そこには到達目標や参考文献、評価方法等も明示されています。

大学ではこれに沿って授業を進める事により、学生たちが学習の流れを理解したり、指導する教員がスムーズに学生を到達目標に導くことができるようになっています。

これを利用することにより、今年度本学で開講している授業科目について、学外から、学部・学科・科目担当者・科目名・講義内容などの検索が可能です。本学への入学を希望する高校生や、聴講講座の受講を検討されている市民の皆様もお気軽にご利用ください。

Webシラバス閲覧システムへは以下のリンクからアクセスできます。

<http://www.nsu.ac.jp/>

## 新潟産業大学 教育研究支援金のご案内

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。いただきましたご寄付は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学の教育理念の達成のために活用させていただきます。

何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。

（担当窓口）新潟産業大学 総務課 ☎0257-24-6655  
E-mail: [sounmu@ada.nsu.ac.jp](mailto:sounmu@ada.nsu.ac.jp)

## 新潟産業大学 SNS（ソーシャルネットワークサービス）オフィシャルアカウント

Twitter



大学での出来事や行事案内、受験生向け情報などを、数名の本学スタッフがそれぞれの立場からツイートします。  
[https://twitter.com/niigata\\_sandai](https://twitter.com/niigata_sandai)

YouTube



学生たちの活動の様子を中心とした動画サイトです。  
<http://www.youtube.com/user/NSUSNS>

# ゆっくり学ぶ じっくり学ぶ 社会人入学生募集！

新潟産業大学では、社会人のみなさまが学びやすい環境を整えています。もう一度「自分磨き」、始めませんか？新潟産業大学がお手伝いします。

## 4つのサポート

**入学試験は面接とレポートのみ  
出願締切  
平成26年3月7日（金）**

高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる方で、社会人（家事等を含む）としての職務経験を1年以上有する方であれば、どなたでも出願できます。また入学試験は、筆記試験ではなく面接とレポートによって、学ぶ意欲などを評価します。

**40歳以上の方は  
入学金全額免除、  
授業料等は  
すべて半額減免**

満40歳以上の方に対し入学金を全額免除し、在学期間中の学納金（授業料、施設設備資金、教育充実費）を半額免除する「シニア学生学費軽減制度」があります。

**平日夜間と  
土曜昼間にも  
授業開講**

あなたのライフスタイルに合わせて、通常の授業時間に加えて平日夜間や土曜日にも授業を行う社会人向けの特別時間割編成を実施しています。また、夏休み、冬休み期間中に、短期間で修得が可能な「集中講義」もあります。

**5～8年かけて  
無理なく学ぶ  
長期履修制度あり**

4年間の学費で最長8年間学ぶことができる「長期履修学生制度」を利用して、週に1～2日の通学での卒業が可能です。

## 【40歳以上の方の学費（参考）】

※年間124単位を履修した場合

| 入学金 | + | 授業料      | + | その他      | = | 合計（年額）   | 長期履修8年の年額 | 1ヶ月あたり   |
|-----|---|----------|---|----------|---|----------|-----------|----------|
| 0円  |   | 330,000円 |   | 115,000円 |   | 445,000円 | ※225,500円 | ※18,792円 |

【社会人入学試験に関するお問合せ先】新潟産業大学入試課 ☎0120-787-124 メールアドレス [nyushi@ada.nsu.ac.jp](mailto:nyushi@ada.nsu.ac.jp)



平成 26 年度入試日程概要 (各学科共通)

| 入試区分 | 自己推薦<br>(後期)       | 一般前期日程<br>(2科目方式) | センター利用<br>(第1期)    | 一般後期日程<br>(2科目方式)   | センター利用<br>(第2期)    | センター利用<br>(第3期)     |
|------|--------------------|-------------------|--------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 出願期間 | H26.1/6(月)～1/28(火) |                   | H26.1/6(月)～1/30(木) | H26.2/12(水)～3/11(火) | H26.2/3(月)～2/20(木) | H26.2/24(月)～3/13(木) |
| 試験日  | H26.2/2(日)         |                   |                    | H26.3/16(日)         |                    |                     |
| 合格発表 | H26.2/7(金)         |                   |                    | H26.3/21(金)         | H26.2/28(金)        | H26.3/21(金)         |
| 試験会場 | 柏崎                 | 柏崎・新潟・富山・酒田・郡山    |                    | 柏崎・新潟               |                    |                     |

入試の詳細・大学院経済学研究科の入試については、2014 入学試験要項でご確認ください。

表紙の写真

「瓢湖のカモ」

撮影者 馬場 研人  
経済学部 経済経営学科 4 年  
新潟産業大学 写真部



瓢湖は母の実家の近くなので、何度も足を運んでいました。  
その時に撮った一枚です。  
水面に浮かぶオナガガモが作り物のように、しかも立体的に見えるようにシャッタースピードをあげて絵画風に表現してみました。  
この季節は白鳥に餌をあげることもできますよ。

学事日程 (平成 26 年 1 月～6 月)

| 平成 25 年度 |                   |             | 平成 26 年度 |                  |              |
|----------|-------------------|-------------|----------|------------------|--------------|
| 月        | 日                 | 行事等         | 月        | 日                | 行事等          |
| 1 月      | 6 日 (月)           | 授業開始        | 4 月      | 2 日 (水)          | 入学式          |
|          | 14 日 (火)～15 日 (水) | 補講日         |          | 3 日 (木)～4 日 (金)  | ガイダンス・健康診断   |
|          | 23 日 (木)～29 日 (水) | 秋学期末試験期間    |          | 4 日 (金)～5 日 (土)  | 新入生学外合宿研修    |
|          | 30 日 (木)～31 日 (金) | 秋学期末試験予備日   |          | 7 日 (月)          | 春学期授業開始      |
|          |                   |             |          | 7 日 (月)～11 日 (金) | 履修登録期間       |
| 2 月      | 6 日 (木)           | 追試験         | 5 月      |                  |              |
|          | 20 日 (木)          | 卒業生発表・成績表配付 |          |                  |              |
|          | 23 日 (日)          | 日商簿記検定      |          |                  |              |
|          | 26 日 (水)          | 再試験         |          |                  |              |
| 3 月      | 4 日 (火)           | 再試験による卒業生発表 | 6 月      | 2 日 (月)          | 創立記念日 (通常授業) |
|          | 15 日 (土)          | 卒業式         |          | 14 日 (土)         | 父母の会総会 (予定)  |
|          | 23 日 (日)          | 中国語検定       |          |                  |              |

編集後記

最近、時間の流れが速く感じられます。

このごろの気候の変化からか季節感が喪失して猛暑の夏と極寒の冬のイメージが強くなり、結果として春と秋の分、一年が短く感じるようになっているせいだろう、と自分なりに考えていたのですが、どうやらそうではなく、多くの人が歳を重ねるにつれ時間が経つのが速くなると実感しているようです。

調べてみたところ、「ジャンネーの法則」というものがありました。例えば、10 歳の人間にとっての 10 年は、その人の人生の時間すべてであるのに対し、50 歳の人間にとって 10 年の長さは自分の人生の 5 分の 1 に過ぎない、という考え方から、歳を重ねるにつれて自分の人生に占める、『今』を含むある期間』の比率はどんどん小さくなり、その結果、時間の経過が早く (短く) 感じられるようになる、というものです。つまり、時間の流れの感じ方は「今現在進行している時間の体感速度」ではなく、「脳が整理した過去の情報を、後で振り返った時にどれぐらいの長さを感じるか」である、ということジャンネーの法則では説明しています。

そして時間経過の体感に影響すると考えられているもう一つの要素は「新鮮な体験」だそうです。

「新しいことをたくさん覚える若いうちは時間が長く感じ、経験を積んできて記憶することが少なくなると時間が短く感じる。」「いろいろなことをやった時間は「長かった」ように感じられるし、たいしたことをしなかった時間は「短かった」と感じられる。」等々。

ああ、肝に銘じなければ！「無駄に日々を過ごしていると人生なんてすぐに終わっちゃうよ。」とは昔からよく言われていますが、心理学的に納得できた気がします。

きっと今回の特集で話を聞いた学生さん達が感じる時間の流れは現在緩やかなのだろうなあ。

新潟産業大学 メディア・広報・企画課



青海波 (せいがいは)

雅楽の舞人の装束に用いられた波文様で、同心円状の波を前後左右交互に重ねた幾何学的な文様。  
この文様の由来は遠くシルクロードまで遡るとされており、これを本学の校章 (3 つの波) に重ね合わせ、  
地域を知り世界を知ることの象徴として、本学の情報発信媒体である学報の名称に採用しました。

●発行 日／平成 25 年 12 月 31 日

●編集・発行／新潟産業大学広報委員会

新潟県柏崎市軽井川 4730 番地 TEL 0257-24-6655 FAX 0257-22-1300